

こども未来会議の概要

1.事業目的



こどもたちと市長が紀の川市の将来を語り合う場を設け、紀の川市の現状をこどもたちに伝え、まちづくりを意識してもらいつながら、将来を見据えた意見交換を行い、こどもたちの視点を活かした市政運営につなげます。

また、こどもたち一人ひとりが社会を動かす力を持っていることを、「こども未来会議」を通して体験してもらいます。

2.企画・運営

「こども未来会議」は、各中学校の協力を得ながら、市役所の企画経営課、教育総務課、秘書課、議会事務局職員が連携し、企画から運営まで行います。

3.対象学校、対象学年、参加人数

対象学校:市内5中学校(打田中学校、粉河中学校、那賀中学校、荒川中学校、貴志川中学校)

対象学年:**中学生全学年**

参加人数:【アンケート】全校生徒

【ワークショップ・最終発表(提言)】各校3~5名ほど

4.流れ

アンケート > ワークショップ > 最終発表 (提言)

中学校全学年

各校3~5名

各校3~5名

- ①アンケートは、**中学校全学年**を対象に、まちの良いところ、イマイチなところ、自分が望む紀の川市の未来の姿などを記入してもらいます。
- ②ワークショップは、各校代表がつどい、紀の川市の良いところや問題点などについて話し合い、一人ひとりが未来の紀の川市についてしっかりと考え、紀の川市民であることを自覚し、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらう仕掛けづくりとして実施します。
- ③最終提言では、出された意見を取りまとめたうえで、市長に「ぼくたち・わたしたちがのぞむまちの姿」を伝えいただきます。

5.ワークショップ詳細

- ・各校単位でのグループで意見だし(⇒各校混合グループでの意見交換)⇒各校単位でのグループに戻りとりまとめ
- ・各校単位でのグループで市長に提言作成

「紀の川市のいいところ、イマイチなところ」について意見交換しながら、班ごとに以下を作成。

「わたしたちがのぞむ10年後の紀の川市のすがた」 スローガン形式

⇒班ごとに市長へ発表

「未来の子どものために取り組んでほしいこと」

紀の川市へのこどもたち目線の希望

6.実施スケジュール

区分	R7 8月	9月	10月	11月	12月	R8 1月
企画 資料作成	8/27校長会	企画 ・資料調整		市の現状など導入用資料や結果 フィードバック用資料も送付予定		
アンケート (配信・フィードバック)		タブレットへ配信	フィードバック		各班で意見交換・集約	
ワークショップ				12/6、12/20		「わたしたちがのぞむ 10年後の紀の川市」 を市長に提言
市長への提言		各校代表3～5名が集う		12/20		
実施結果とりまとめ				報告書として とりまとめ	長期総合計画 への反映を 検討	